

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第36号
平成20年6月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>



左から平澤さん、村石さん、新海さん

五月三日(土)読売新聞社主催第七十八回新人演奏会が東京文化会館大ホールで開催されました。

この演奏会は、一九三〇年から始まり、今年で七十回を数える国内で最も古からの伝統と実績を誇る「新人演奏会」です。数ある全国の音楽大学、音楽系短期大学のなかから今回は三十五校が参加し、各大学から選ばれた優秀な卒業生が出演いたしました。

本学からは、平成十九年度音楽文化学科卒業

第七十八回 新人演奏会

読売新聞社主催

演奏曲目は、新海さんがブッチーニ作曲の歌劇「ラ・ボエーム」第二幕より、「私が町を歩けば」、そして平澤さんがドニゼッティ作曲の歌劇「シャモニーのリング」第一幕より、「この心の光を、いずれも村石さんのピアノの伴奏で華麗に歌い上げました。会場からの大きな拍手をうけて、出演した三人のとても晴れ晴れとした満足の表情が印象的でした。三人のこれからの成長と活躍を今後も期待したいと思えます。



第78回新人演奏会



第78回新人演奏会

去る三月二十八日(金)から三十日(日)まで、第三十回全国JOCジュニアオリピックカップ春季水泳競技大会水球競技が、千葉県国際水泳場で開催され、E区分(十八歳以下の部)で見事、二年連続の優勝を飾りました。

一回戦は鳥取水球クラブとの対戦で、一四対五で勝利し、二回戦は花咲徳栄高校(埼玉)に一五対三と快勝。決勝は昨年と同じ対戦となり、藤村女子高校(東京)に一〇対八と競り勝ちました。第一ピリオドを四対一でリードし、その後も二点

二年連続 優勝

第三十回全国JOC春季水泳競技大会・水球競技 (ジュニアオリピックカップ)

(女子十八歳以下)

(女子十八歳以下)

差までつめられるものの、終始安定感のある試合運びができました。終わってみれば、予選を含め、すべての試合で一〇点以上の得点でき、日々の練習の成果が発揮できたといえます。



聖徳中学校・高等学校

第三十回全国JOC春季水泳競技大会・水球競技

- 主なトピックス
- ・第30回 全国JOC春季水泳競技大会・水球競技 2年連続優勝 聖徳中学校・高等学校
 - ・第22回 管理栄養士国家試験で 4年連続 高合格率90.1%
 - ・平成20年度 SOAオープンングセレモニー開催 好評の講演と初の試み「音楽と絵画のパフォーマンス」
 - ・特別インタビュー 人文学部外国語学科 特任教授 ジョイス 津野田 幸子 先生 「海外に行き、日本の良さを見つけよう」
 - ・OGインタビュー 佐竹 香保さん、伊藤 知香さん
 - ・聖徳フレンドシップデー 幼児教育専門学校
 - ・職業学習 JAL見学会を終えて 附属中学校・高等学校
 - ・こいのぼり集会 附属小学校
 - ・「21世紀を担う、輝く聖徳の子!」 秋和会 附属小学校同窓会
 - ・見まわり隊 多摩中央幼稚園
 - ・学校法人東京聖徳学園創立75周年記念/源氏物語千年記念 聖徳大学言語文化研究所公開学術連続講演会 源氏物語と王朝の雅

INDEX

聖徳中・高	1
学園	1
大学院・大学・短大	1~5
幼児教育専門学校	5
附属中・高	5
小学校	6
幼稚園	6~7
インフォメーション	~8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成18年11月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

三年生・二年生の活躍が優勝の大きな要因となりましたが、入学して約一年経った一年生の成長が大きいく、夏季大会を含めると三回目の全国大会優勝の原動力となりました。

温かく見守っていただきました学園の方々感谢您的いたします。

聖徳学園は 学園創立 75周年 を迎えました。

記念行事一覧

- 平成20年
 - 9月20日(土) — 茶席披き <聖徳大学>
 - 9月28日(日) — 聖徳大学音楽学部オペラ公演「魔笛」
(サントリーホール 大ホール/開場16:45 開演17:30)
 - 10月9日(木) — 聖徳学園創立75周年記念 「源氏物語千年紀 王朝文化の世界(仮称)」展
~14日(火) (紀伊國屋画廊)
 - 10月22日(水) — 聖徳学園創立75周年記念講演 ●講演者: 冷泉 貴実子 「源氏物語千年紀に思う」 (浜離宮朝日ホール)
 - 11月28日(金) — 学園創立75周年記念式典 (帝国ホテル)
- 平成21年
 - 2月28日(土) — 聖徳大学児童学研究所「子どもの発達シンポジウム」 (聖徳大学川並香順記念講堂)
 - 3月 — 1号館竣工 予定 (平成20年5月23日現在)

学園創立75周年 シンボルマークについて

創立以来受け継がれてきている「和」の精神は、相手を大切に思う「心の教育」を基本としています。学園に集う一人ひとりの心のつながりが大きな輪となって成長する様子を描いたシンボルは、75周年バージョンになりました。

「夢色のたすき 100年へ」。長い歴史の中で聖徳学園に夢をかけた人々の思いを、たすきとして受け取り、100周年に向けて受け継いでいくことを意味しています。

「Dare to Dream SEITOKU 75th」夢を追いかけて進んで欲しいという願いが込められています。



Dare to Dream SEITOKU 75th

第22回 管理栄養士国家試験

4年連続高合格率 90.1%

管理栄養士専攻 2008年3月卒業生実績/受験者数91名・合格者数82名

第19回 90.4%
2005年3月卒業生実績
受験者数104名・合格者数94名

第20回 87.8%
2006年3月卒業生実績
受験者数115名・合格者数101名

第21回 88.8%
2007年3月卒業生実績
受験者数98名・合格者数87名

全国平均 31.6% 受験者数 22,073名 / 合格者数 6,968名
(平成20年5月8日 厚生労働省発表による)

- 基礎から学びをバックアップする 細やかな教育システム
- 公開講習会(年2回)と模擬試験(年6回)を実施
- eラーニングシステムで自宅学習をバックアップ

人文学部人間栄養学科 お問い合わせは 入学センター ☎0120-66-5531

川並弘昭 先生が 日本私立短期大学協会の 名誉会長に就任

五月十三日(火)、平成二十年度日本私立短期大学協会春季定期総会が開催され、任期満了に伴う全役員改選が行われました。

平成二十年度より四期八年の永きにわたり会長を務められた川並弘昭先生(本学理事長)は会長を勇退され、新たに名誉会長に就任されました。

日本私立短期大学協会は、一九五〇(昭和二十五)年、短期大学制度の発足とともに設立され、当初は百



三十二校の会員校でスタートしました。そして短期大学の使命にかんがみ、私学の特色を保持しつつ、会員相互の協力によって、私立短期大学の自主性と公共性を高め、その健全な発展に寄与することを目的としている団体です。

二〇〇八年五月一日現在では、ほぼ全私立短期大学の日本全国三百六十四校が協会に会員として加盟しています。

川並弘昭先生は、協会が

村上信夫元客員教授が 帝国ホテルで着用されていた コックコートを表示!



本学人文学部生活文化学科で客員教授として教鞭を執られた村上先生は、平成十七(二〇〇五)年八月二日千葉原松戸市小金原の自宅において心不全のため急逝されました。享年八十四歳。

先生は、大正一〇(一九二一年)、東京都千代田区にお生まれになり、昭和十五(一九四〇)年、帝国ホテルに入社されました。その後、フランス・パリのホテル・リッツなどで修行され、終戦後はベルギー大使館で料理人

として活躍されました。昭和三十九(一九六四)年、東京オリンピックでは総料理長として三百人を超えるシエフを総括され、腕を振るいました。昭和四十四(一九六九)年より、帝国ホテルの料理長として「食」の神髄を求めており、昭和四十五(一九七〇)年、取締役に就任され、日本人としては初めてのフランスから名誉あるラ・シエヌ・デ・ローティスール協会章を授与されました。

昭和五十九(一九八四)年には、その道の業務に精励した永年の模範的な功績により、黄綬褒章を授与されました。平成六(一九九四)年、専務取締役総料理長となり、勲四等瑞



先生の気持ちや伝わってくるようなコックコートです。一号館二階にお越しの折りは、ぜひご覧ください。

平成二十年度

SOAオープニングセレモニー開催 好評の 講演と、 パフォーマンス

去る四月十九日(土)、聖徳大学生涯学習社会貢献センター(本学一〇号館)において、平成二十年度聖徳大学オープンアカデミー(SOA)のオープニングセレモニーが開催され、SOA会員はもとより、近隣在住の方、本学学生など多数の方々にご来場いただきました。



北村節子氏

セレモニーでは、川並弘純副理事長、宮坂いち子SOA校長のご挨拶のあと、十五年かけて本講座の規定による六十二単位を修得された蟻本守夫様へ、総合修了証授与(第二号)の表彰が執り行われました。

引き続き、読売新聞東京本社の調査研究部主任研究員の北村節子氏より、「ご縁」をデザインする時代」と題して講演をしていただきました。ユーモアの中にも鋭く現代社会を分析し、身近な事例も多く取り上げながらの楽しい講演でした。

休憩後は、音楽学部の大原先生がピアノの前奏曲を奏でる中、正面で児童学部の大成哲雄先生が即興で筆を振る、色彩豊かな絵画製作に挑みました。終演後には、めつたに見ることのできない絵画作成の過程を目にした来場者が大成先生を囲んで、熱気のある交流の場となりました。またこの企画では、音楽学部の山本まり子先生に分かりやすく曲目解説をしていただき、こちらも好評でした。完成した絵画は、一〇号館一階フロアに展示しておりますのでお立ち寄りの際はぜひご鑑賞ください。

セレモニー終了後、来場の方々は、一〇階でおくつろぎいただき、事前予約いただいた方には、「フラワーアレンジメント」「押し花」の体験模擬授業を受講いただきました。

平成二十年度の年間テーマを「きずな」としてスタートしたSOA公開講座は、語学、芸術、文化、文学、料理、教育などさまざまなジャンルをお話ししていただいた後、短大・企業・高校のそれぞれの立場から、短大のキャリア教育についてディスカッションをしました。

その結果、見えてきた解決策として、①短大二年間のイベントは学生主体で行う、②卒業後のサポートをする、③インターンシップ制度を活用する、④教職員こそキャリア形成が必要である、⑤「会社褒め」(企業の長所を見つけること)のパンフレットを作成する、⑥短大二年後期のプログラムを改革する(内定後のケアをどのようにするか)、⑦高校・短大・企業が相互に情報交換をする、といったことが挙げられます。今後の短大のキャリア教育は、高校・短大・企業の「信頼関係に基づく連携」



左から原佳先生、山本まり子先生、大成哲雄先生

キャリア教育 シンポジウムを 開催しました!

総合文化学科・キャリア支援室



去る三月二十二日(土)の午後、短期大学部総合文化学科とキャリア支援室との共催によるキャリア教育シンポジウム「短大における人間力養成―実践と展望―」が、本学一〇号館で開催されました。

本学科のキャリア教育は、文部科学省平成十八年度現代GPに採択されましたが、その二年間の実践報告

セッションIでは、松本大学松商短期大学の糸井重夫氏、自由が丘産能短期大学の佐藤利枝子氏、本学部の佐藤利枝子氏、佐藤七枝氏より、キャリア教育プログラムの実践報告がありました。セッションIIでは、短大生の採用実績のある企業、キャンオン株式会社の高野浩幸氏、株式会社千葉興業銀行の安田達央氏から短大生に対する期待が寄せられました。

さらにセッションIIIでは、東京学館高等学校の本田俊晴氏、足立高等学校の浦部ひとみ氏をお招きして、短大に期待することを

※現代GP報告書「人間力を養成するユニット別キャリア教育(総合文化学科)」が刊行になりました。ご希望の方は、キャリア支援室までお問い合わせください。

【お申込み・お問い合わせ】
聖徳大学生涯学習課
電話〇四七―三六五―三六〇―
(直通)

好評開催中！大学・短大

入学センター

オープンキャンパスレポート

三月二十三日(日)を皮切りに、四月十三日(日)、五月三日(土)とオープンキャンパスが好評開催中です！今年度のオープンキャンパスは、「より楽しく・詳しく・わかりやすく」をテーマに、高校生が本当に知りたい情報を楽しく収集して帰ってもらえるよう改善しています。例えば、以前はモノクロの印刷だったメニュー案内のレジュメを、今年はカラー刷りのリーフレット「オープンキャンパスガイドマップ」に変更し、各教室で行われているメニューを探しやすくしています。また、メニューの中心につ

いても、学生の実習ノートや制作物を展示する「学生展示」のコーナーや、楽譜を配布して自由にピアノに弾いてもらう「ピアノ練習室体験」など、より具体的に「見て・触れてもらうこと」で、入学後のイメージをふくらませてもらうよう工夫しています。

これから夏にかけて、いよいよ本格的なオープンキャンパスシーズンの到来です！来校される高校生の更なる満足度アップを目指して、今後も、「楽しく詳しく・わかりやすく」オープンキャンパスを開催できるよう努力していきたいと思っております。



参加するたびに発見がある！ 聖徳のオープンキャンパス 高校1・2年生の参加も大歓迎！

聖徳のオープンキャンパスでは、毎回様々なイベントを開催！何回来てても新しい発見があります。質問には、先生や在学生・卒業生が直接答えてくれるので気になることは、何でも聞いてください。もちろん、在学生とちょっとおしゃべりがしたくなった時なども大歓迎です。友人や保護者の方を誘って気軽に参加してください。

[2008年度 オープンキャンパス・入学相談会日程]

日程	時間	テーマ
6月22日(日)	13:00~17:00	教員が学科別に「入試対策の勉強方法」や「学びの特長」を説明します。
7月20日(日)	10:30~17:00 学食体験	平成21年度入試を詳細に説明します。「AO入試」「推薦入試」など 【高校1・2年生向け】ひと足お先にキャンパス体験!!
8月3日(日)	13:00~17:00	教員による「体験授業」と「学びの特長」を説明します。
8月23日(土)	10:30~17:00 学食体験	平成21年度入試直前対策!! 「AO入試」直前必勝講座です。 【高校1・2年生向け】大学の授業などを受けて、聖徳の学生の一身体験しよう。
9月21日(日)	13:00~17:00	平成21年度入試合格対策!! 入試まであとわずか 「推薦入試」「AO入試」「特別奨学生入試」の必勝講座です。
10月4日(土)	10:00~15:00	入学相談会 入試、学びの中身などじっくりと話せるなんでも相談会 ●直前推薦入試相談 保育表現研究発表会 児童学科、保育科の2年生による「創作舞踊」や「表現あそび」の発表会。 保育士や幼稚園教諭を目指す人は必見です!
10月12日(日)	13:00~17:00	平成21年度入試最終対策!! 「推薦入試」最終チェック講座です。 【高校1・2年生向け】自分に合った「学科・分野」を発見しよう。
11月8日(土)・9日(日)	10:00~15:00 学食体験	入学相談会 入試、学びの中身などじっくりと話せるなんでも相談会 聖徳祭 クラス発表、部活発表、サークルの企画など様々な発表がある学園祭です。在学生達の熱気を感じてください。
11月16日(日)	13:00~16:00	平成21年度入試対策!! 「推薦入試」「AO入試」「特別奨学生入試」の必勝講座です。
12月21日(日)	13:00~16:00	平成21年度入試説明 「一般入試」と「特別奨学生入試」について説明します。

※オープンキャンパスの詳細についてはホームページでご確認ください。ご参加お待ちしております。
「オープンキャンパス」/「入学相談会」に参加できない方は、「キャンパス見学(予約受付中)」/「進学相談会」に参加してください。

入学相談会 通常のオープンキャンパスよりも、じっくりと相談できます。

なんでも相談 在学生とのフリートーク

在学生によるキャンパスツアー

聖徳大学・聖徳大学短期大学部の資料請求・お問い合わせは 聖徳大学入学センターへ

受験相談フリーダイヤル
0120-66-5531

ホームページにアクセス
<http://www.seitoku.jp/univ/>

空メールを送ってカンタン資料請求
su@kwml.jp

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新成線「松戸駅」下車東口徒歩5分

★公共交通機関をご利用いただき、お車のご来校はご遠慮ください。

5階出口
イトーヨーカドー内エスカレーターを利用できます。閉店時は正面の通路階段をご利用ください。

2階入口
中央公園

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

●特別インタビュー 「海外に行き、日本の良さを見つけよう」



ジョイス 津野田 幸子先生

グローバル社会の今、外国語学科の学生のみならず、全ての学生に海外留学の必要性が叫ばれております。今回は特別インタビューとして、長い間ハワイで生活し、ハワイ大学コミュニティ・カレッジの名譽総長であり、本年度より外国語学科の特任教授に就任されましたジョイス津野田 幸子先生に海外留学に対する心構えなどをインタビューしました。

現在留学している人やこれから留学する人に、とても参考になる貴重なお話を伺いました。

■先生の生い立ちについて

私は日系人で、10歳まで日本人として育ちました。兵庫県尼崎市で生まれ、満州で育ちました。戦後満州から引き上げて1年間は日本で暮らし、その後ハワイに住んでいました。母は日系2世、父は日本人で、(当時、巨人・沢村栄治のライバルといわれた)タイガースのスター投手・西村幸生でした。ちなみに、父は関西大学野球部時代に大学チャンピオンになった時、ハワイ航路の船上で母と知り合い、結婚しました。そして、私は今までハワイ大学に40年勤務していました。

専門は、「比較文化論」です。ここで言う「文化」とは、美術とか音楽ではなく、人の思想、考え方のことです。特に、講義では日本人と日系人との生活と思想を比較しました。そこでは、学生が自分自身を知り、何かに関心を持つといった楽しい講義になりました。それは教壇に立つのではなく、セミナーのように話す形式で、私自身の日本語の勉強にもなりました。



2006年 アメリカ西海岸・ハワイ研修旅行にて(現・人間栄養学科)

■日本の学生に不足しがちなものについて

留学生の中でも、日本の高校生、特に大学生は、自分に自信を持っていない感じがします。留学は、自分が新しいことを、新しい環境で学ぶチャンスであるのに、それを前向きに捉えていないと思います。

私は、授業の終わりに“Any other question?”(何か質問ある?) “Did you understand?”(分かった?)と聞きます。

日本の学生はこのようなごく普通の教員からの問いかけに対してほとんど答えません。手を挙げません。ただ私の顔を見るだけです。

もしわからなければ、「ここはわかりません」「英語が早くについていけない」と意思表示をしてほしいと思います。

そのような事を言うと相手に対して失礼だと、質問するのは生意気だと感じるのでしょうか。遠慮深いことも大切かもしれませんが、もう少し自信を持って、質問したり、自分の考えを述べてはいかがでしょうか。

教師として、日本の留学生と付き合っていると、私の言っていることを本当に理解してくれているかとても気になります。それは、言い換えれば理解してもらえないことが多いからです。たまに学生から目をあわせてもらえない時もあります。少し大げさかもしれませんが、学生の視線を向けるために、学生の顎を手で掴んで向かせたい気分にもなります。

人文学部外国語学科 特任教授 ジョイス 津野田 幸子 先生

■日本の学生として誇れるものについて

私は日本人女性の留学生の誇らしい点は、単にかわいいだけでなく、日本の女性は、何と云うか、“しなやか”であると感じます。どうしてこうも日本女性は“しなやか”に育つのかしらと考えることもあります。私は日系アメリカ人ですから、直ぐに足を組んだりしますし、よくテレビで観られるように、例えば、ライス長官も直ぐ足を組みます。その点、日本の女性はとてもマナーが良いと感じますし、逆にアメリカの女性は日本の女性らしさを学んでほしいと思います。

アメリカでいう平等の意味は“gender free”(ジェンダー・フリー)というわけではありません。男女は同権であっても、同質ではありません。自分の持つ可能性に対しては男女共に等しく伸ばす権利が保障されていますが、“Nice part about woman”(女性特有の良い点)もどんどん伸ばしてほしいと思います。日本の女性は皆、それが自然に出ます。特に、日本からの留学生はマナーが良く、ほとんど人に迷惑をかけることはありません。

また、日本の学生は自分の国に誇りを持っていることを表に現しません。恥ずかしいことはありません。隠す必要は何もありません。日本は文化的に優れている国です。そのことを若い人が主張しないのは、とても残念です。“Good manner and good communication”(上質のマナーとコミュニケーション能力)のどちらかが欠けても駄目で、この両方を持ってほしいです。



■学問以外で留学時に必要なもの(持って行くと便利なもの)について

他国の留学生とコミュニケーションをとるために、自国の文化を説明するための折り紙や音楽(特に流行の音楽)を持っていくとよいのではないのでしょうか。

若者同士の共通の話題ができます。日本の漫画や携帯電話の使い方等もいいかもしれません。また、留学しているとホームシックになることもあると思います。そんな時、家族の写真やボーイフレンドの写真を見せたりして、“This is my family.”とか話して、友達に知ってもらおう。それは、自分で自分を支えるために行動するという事です。

カラオケで何か一つでも英語の歌を歌えるといいでしょう。“I left my heart in San Francisco”(『思い出のサンフランシスコ』)とか。

またアメリカでは、公衆トイレにいても必ず紙はあるとは限りません。しかし、日本ではハンカチは必需品です。ハンカチも一つのファッションで流行があり、さまざまなデザインがあることを簡単に説明する。自分では当たり前のことも海外では当たり前ではありません。そのような情報を“Show and tell”(見せて話す)する。アメリカ人は、これが好きです。趣味について話す、趣味を持ってきて見せる。“Show and tell”となります。

口から知っている単語を出すだけでよいのです。文法的に間違っても構いません。相手は理解しようとしてくれます。すると、「自分の英語でも分かってもらえるんだ」「私は外国でも友達を作ることができるんだ」という自信になります。

■これから留学してみたいという学生に一言

ぜひ機会があれば留学して、違う環境から自分の教育、そして日本を見てください。現代はグローバル社会です。大学時代は留学する“Good chance”です。アルバイトをしてでも、ぜひハワイに行ってみてください。ハワイ大学にはカピオラニ・コミュニティ・カレッジを含めて、10校のキャンパスがあります。ハワイは遊ぶところだけではなく、学びのハワイを“Very fully enjoy.”(思う存分経験して)してほしいと思います。

卒業生・先輩

OG

インタビュー

第1回

就職先
学校法人やしる学園
葛飾白百合幼稚園

平成十八年度 児童学科卒業
佐竹 香保里さん

平成十六年度 児童学科卒業
伊藤 知香さん

聖徳フラッシュでは、今号より現場で活躍する卒業生たちへのインタビューを掲載してまいります。今回は、幼稚園教諭一種免許を取得し、学校法人やしる学園 葛飾白百合幼稚園へ就職された佐竹香保里さん、伊藤知香さんよりお話を伺いました。

問 幼稚園教員を目指したきっかけは？

佐竹 私は小さい頃の保育園の担任が大好きで、憧れていたもので、先生になりたいと思っていました。

また、ピアノも子どもの頃からやっていたので、作業も大好き。だから、この職業しかないと考えて聖徳大学に入學しました。

でも大学での幼稚園実習はとて厳しく、思うようにいかない時もあり、真剣に悩むこともありましたが、高校時代は、とりあえず大学に行くのが目的で、大学に入る前に夢を持っている人は少ない

幼稚園教員の一日

- 8時出勤 部屋のセッティング
- 8時40分～10時 登園
- 10時～11時 朝の会
- 11時～12時 外遊び
- 12時30分～1時 お弁当 給食
- 1時20分 帰る支度
- 1時30分～3時 園児帰宅
- 3時 保護者への連絡
- 3時10分 部屋の掃除と翌日の制作の準備
- 7時 帰宅



伊藤 私も小学校に入る前から保育園の先生を目指していましたが、進路について悩む時期がありました。幼稚園の先生の先生になりました。初めは、保育士を志していましたが、幼稚園教員・保育士養成コースで学ぶ中で、最終的には幼稚園の教員を目指して行きました。

問 幼稚園教員になって嬉しいことは？

伊藤 私は自分の事を芸人的な感覚を持っていてと感じています。園児が笑うと嬉しく感じ、反応が良かったときは、すごく嬉しく思います。また、絵本やお話を注目して静かに聴いてくれたときも、とても嬉しく感じます。園児はとて素直なのでお話がつまらないときは直ぐにグッと聞いてしまいます。



伊藤 知香さん

佐竹 難しいのは保護者とのコミュニケーションで、特に電話連絡です。まだまだ園児の状況を上手く伝えることができません。表現方法が正確ではない

介護福祉学科

問 これから幼稚園教員を目指す学生にひとこと

佐竹 自分の意思を持って職業を選択して欲しいと思います。

仕事の中で、つまずいたときには、なんとなく子どもがかわいから、好きだからという想いもあるかもしれませんが、「自分が何でこの職業に就きたかったか、そして今、なぜこの仕事をしているのか」を考え、その答えが落ち込んだときの支えになります。

伊藤 とりあえず就職するというのでなく、何年後かの先のことを見据えて職業を選択して欲しいと思います。

武蔵野市民文化会館ホールは、皆様にはなじみが薄いかも知れませんが、今年四月に一度の世界的にも有名な『武蔵野市国際オルガンコンクール』の第一次予選と本選が行われるパイ

オルガン二スト協会主催の「第三十五回オルガン新人演奏会」が武蔵野市民文化会館で行われました。本学から平成十九年度音楽文化学科卒業の鳥居亜佑子さんが出演し、堂々とスケールの大きな音楽を奏でてくれました。

プオルガンを有するホールです。鳥居さんはそのホルのパイプオルガンを駆使して、J.S.バッハ作曲「前奏曲とフーガ ハ短調 BWV 546」を、フレーズを生き生きと明確に、美しいタッチとアーティキュレイションで演奏しました。東京芸大、国立音大、武蔵野音大、エリザベト、活水など全国の音楽大学から十一名が出演いたしました。その出演者の中でも決してひけを取らない演奏でした。

本学からは久しぶりの出演となったパイプオルガンの新人演奏会の成功を導いてくださいました松居直美先生に感謝申し上げます。附属高校の普通科から進学してきた鳥居さんに、片桐章子先生の良きご指導で将来の道を見出させることができました。そして現在、鳥居さんは本学大学院に進学しており、今後さらにパイプオルガンの演奏、研究を進めていくことにより、これからの輝かしい未来を期待しております。

介護教員講習会開催

厚生労働省において、介護教育の充実・向上及び介護教員の養成確保を図る意図で、介護教員講習会が開講し、博士課程の前期、後期修了者、教員免許所持者も助手も関係なく、介護福祉士養成施設の専任教員はこの講習会を受講することとなりました。

この講習会は、本学が三年前から千葉県の講習会当番校として決定しており、その準備に入っております。平成十九年の夏と二十年三月の開講を予定し、受講生の募集対応や講師の選定等、聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)の協力の下、実施いたしました。

今回の講習会には本学教員も多数参加し、講師も慣れた顔ぶれでしたが、日

ごらの授業やFD(ファカルティ・デイベロップメント)とはまた違った趣で受講できました。地方からの受講生は、さまざまな場所の講習会を経験してきた方たちで、その方々が聖徳の教員連携の良さに感心されていきました。事務方の好感あふれる対応、参加したメンバーの醸し出す雰囲気が高まって、グループワークが最高の効果を挙げ、有意義なメンバー交流がなされました。

講習生は、口々に講習会の最終場所を聖徳にしたことが幸運だったと言われ、ほっとすると同時に鼻の高い思いでした。講習会の真の目的が達成され、別れがたい思いで会を終りました。

子どもの食生活の問題点が指摘される中、子どもの健康な心身を育み、望ましい食習慣を形成するための、学校における食育の充実が重要な課題となっており、平成十七年度には「栄養教諭制度」が発足しました。栄養教諭制度は、従前の学校栄養職員が行っていた「学校給食の栄養管理・衛生管理」に加えて、「食に関する指導」を行う職であるため、栄養士や管理栄養士を基礎要件として、教員免許を付与した資格ということになります。管理栄養士養成課程を置く本学では、国から「栄養教諭(一種免許)」の課程認定を受けています。本学、生活文化学科(現三年生以下は、人間栄養学科)では、平成十七年度から、四年次の学生まで遡って制度を適用するカリキュラムを組み、すでに、三回の卒業生、五十一名の栄養教諭免許

取得者を輩出しております(十七年度十三名、十八年度十六名、十九年度二十二名)。

栄養教諭の採用については、栄養教諭の配置が都道府県の判断に委ねられていることや、すでに配置されている「学校栄養職員」を「栄養教諭」に任用することが優先されていることなどから、残念ながら、実際に「栄養教諭」としての新規採用はほとんどありません。しかし、昨年あたりから、教員採用試験の中で「栄養教諭」を採用する県が増えてきており、今後は、学校に職を求めた栄養士は、「栄養教諭」を持つことが要件になると考えられます。平成十七年には、「食育基本法」が制定され、国を挙げて食育が推進される中、「栄養教諭(一種免許)」を持った「管理栄養士」の養成に力を注いでいきたいと思います。

取得者を輩出しております(十七年度十三名、十八年度十六名、十九年度二十二名)。

音楽学部 日本オルガン二スト協会主催

第三十五回オルガン新人演奏会

四月二十九日(火)に日本オルガン二スト協会主催の「第三十五回オルガン新人演奏会」が武蔵野市民文化会館で行われました。本学から平成十九年度音楽文化学科卒業の鳥居亜佑子さんが出演し、堂々とスケールの大きな音楽を奏でてくれました。



鳥居 亜佑子さん

「栄養教諭」を養成しています

子どもの食生活の問題点が指摘される中、子どもの健康な心身を育み、望ましい食習慣を形成するための、学校における食育の充実が重要な課題となっており、平成十七年度には「栄養教諭制度」が発足しました。栄養教諭制度は、従前の学校栄養職員が行っていた「学校給食の栄養管理・衛生管理」に加えて、「食に関する指導」を行う職であるため、栄養士や管理栄養士を基礎要件として、教員免許を付与した資格ということになります。管理栄養士養成課程を置く本学では、国から「栄養教諭(一種免許)」の課程認定を受けています。本学、生活文化学科(現三年生以下は、人間栄養学科)では、平成十七年度から、四年次の学生まで遡って制度を適用するカリキュラムを組み、すでに、三回の卒業生、五十一名の栄養教諭免許

取得者を輩出しております(十七年度十三名、十八年度十六名、十九年度二十二名)。

栄養教諭の採用については、栄養教諭の配置が都道府県の判断に委ねられていることや、すでに配置されている「学校栄養職員」を「栄養教諭」に任用することが優先されていることなどから、残念ながら、実際に「栄養教諭」としての新規採用はほとんどありません。しかし、昨年あたりから、教員採用試験の中で「栄養教諭」を採用する県が増えてきており、今後は、学校に職を求めた栄養士は、「栄養教諭」を持つことが要件になると考えられます。平成十七年には、「食育基本法」が制定され、国を挙げて食育が推進される中、「栄養教諭(一種免許)」を持った「管理栄養士」の養成に力を注いでいきたいと思います。

取得者を輩出しております(十七年度十三名、十八年度十六名、十九年度二十二名)。

栄養教諭の採用については、栄養教諭の配置が都道府県の判断に委ねられていることや、すでに配置されている「学校栄養職員」を「栄養教諭」に任用することが優先されていることなどから、残念ながら、実際に「栄養教諭」としての新規採用はほとんどありません。しかし、昨年あたりから、教員採用試験の中で「栄養教諭」を採用する県が増えてきており、今後は、学校に職を求めた栄養士は、「栄養教諭」を持つことが要件になると考えられます。平成十七年には、「食育基本法」が制定され、国を挙げて食育が推進される中、「栄養教諭(一種免許)」を持った「管理栄養士」の養成に力を注いでいきたいと思います。

取得者を輩出しております(十七年度十三名、十八年度十六名、十九年度二十二名)。

栄養教諭の採用については、栄養教諭の配置が都道府県の判断に委ねられていることや、すでに配置されている「学校栄養職員」を「栄養教諭」に任用することが優先されていることなどから、残念ながら、実際に「栄養教諭」としての新規採用はほとんどありません。しかし、昨年あたりから、教員採用試験の中で「栄養教諭」を採用する県が増えてきており、今後は、学校に職を求めた栄養士は、「栄養教諭」を持つことが要件になると考えられます。平成十七年には、「食育基本法」が制定され、国を挙げて食育が推進される中、「栄養教諭(一種免許)」を持った「管理栄養士」の養成に力を注いでいきたいと思います。

取得者を輩出しております(十七年度十三名、十八年度十六名、十九年度二十二名)。

栄養教諭の採用については、栄養教諭の配置が都道府県の判断に委ねられていることや、すでに配置されている「学校栄養職員」を「栄養教諭」に任用することが優先されていることなどから、残念ながら、実際に「栄養教諭」としての新規採用はほとんどありません。しかし、昨年あたりから、教員採用試験の中で「栄養教諭」を採用する県が増えてきており、今後は、学校に職を求めた栄養士は、「栄養教諭」を持つことが要件になると考えられます。平成十七年には、「食育基本法」が制定され、国を挙げて食育が推進される中、「栄養教諭(一種免許)」を持った「管理栄養士」の養成に力を注いでいきたいと思います。

大学・短期大学部 平成二十年度

新入生歓迎

フレンドシップツアー

(F.T.)を終えて

新入生歓迎フレンドシップツアー(F.T.)が、五月一日(木)・二日(金)の二泊三日からスタートして、全八班編成にて行われました。このF.T.は、今年度より「聖徳教育」の必修科目となったことで、昨年までの聖徳オリエンテーションフレンドシップツアー(S.O.F.T.)から名称が変更になりました。箱根の自然の中で、一泊二日の集団行動をすることにより、新入生と上級生、先生と学生がより強く結びつき、社会人になる上で必要な規則正しい団体生活を身につけることを目的としています。

一日目は、午後の活動がA(スコリアスレチック)・B(クラスアワー)・C(フレーザーセンター)と箱根園所見学のグループに分かれて行われました。いずれの活動からも学生の生き生きとした表情を垣間見ることができました。さらに、夕食後のグループミーティングでは、新入生が上級生の部屋に招かれ、授業や学生生活のことを直接聞くことができ、大変充実した良い交流の場になったことと思います。

二日目は、箱根彫刻の森美術館を見学しました。館内は、様々な芸術家のオブジェや美しい花々、そして二階建てのピカソ館などで構成されていて、本学に縁のある流政之先生の作品「風の刻印」も展示されています。館内の芸術作品により一層深めたことと思います。

この二日間の交流は、良い人間関係を作り、今後の学生生活を充実したものにする良い機会であったと確信しています。



幼児教育専門学校

新入生オリエンテーション



四月三日(木)、四日(金)に新入生オリエンテーションを実施いたしました。入学式より以前にオリエンテーションを実施するのは、今年度からの試みです。新入生に学校を理解してから入学式に臨んでほしいとの思いから、事前に行われることとなりました。

オリエンテーションでは、新二年生のオリエンテーション委員が新入生を笑顔で迎え、お世話をしています。

聖徳フレンドシップデー

昨年度まで、一泊二日の日程で、箱根で行われていたS.O.F.T.(聖徳オリエンテーション)フレンドシップツアーから、今年度は午前中をミニ運動会、午後からはグループミーティングを行うS.F.D.(聖徳フレンドシップデー)へと、生まれ変わりました。

S.F.D.の目的の一つは、新入生と在校生、そして先生方が一緒に身体を動かして協力し合って、楽しいひとときを共にし、保育者の資質を学習することであり、さらに、グループミーティングを通して今後の学生生活を生き生きと過ごして



附属中学校・高等学校

社会科見学

公民の授業で学習したことを実際に体験してみようというテーマのもと、毎年恒例の三年生の社会科見学が二月二十五日(月)に実施されました。見学場所は中央区にある日本銀行と、千代田区にある東京地方裁判所の二箇所でした。

日本銀行では、お金を作る過程やお金の流通の仕方、日本銀行の役割についてビデオ視聴し、その後、係の方の案内で日本銀行創立時代、実際に使われていた器具や物、歴代の総裁の肖像画、実際に行われている銀行の窓口業務を見学をしました。生徒たちは銀行の銀行といわれる日本銀行の隅々まで見学をして、授業で習ったことを思い出しな

た。空いた時間に手あそびをしたり、質問に答えたりと先輩らしく成長した姿が見受けられました。また、新入生を歓迎するため、教室内に装飾をしたり、折り紙で作った作品を新入生に渡したりなど、細やかな心遣いがされていて、新入生はとても感激したと思います。

オリエンテーションでは、学校生活や諸手続きの説明、副学部長と校長先生のお話などを聞き、今後の学校生活の展望が見えてきたのではないのでしょうか。

一日も早く学校に慣れ、すてきな保育者を目指して頑張ってくださいと思います。

三月十四日(金)に日本航空株式会社羽田整備場見学及び希望者による客室乗務員訓練センターの見学会が実施されました。東京モノレールの新整備場駅に集合し、機体整備工場の見学をしました。ビデオ鑑賞や飛行機の構造などの講義を聞き、パイロットやキャビンアテンダントの制服・制帽を試着しての記念撮影をしました。テレビドラマで放映されていた場所でもあったので生徒たちは、目を輝かせていました。その後見学デッキで、運行整備の概要を聞きながら見学し、機

がらメモを取っていました。次の見学地の東京地方裁判所までは、徒歩で大手町のオフィス街、皇居を通り、日比谷公園で休憩をした後、裁判所に向かいました。裁判所に入るときにセキュリティチェックを受けるため、生徒たちは、そのものものに驚いた様子でした。裁判所内では実際の裁判が行われていました。裁判が行われていた様子を見て、「ドラマのようでした」「手錠につながれているのを見てショックを受けました」などの声がありました。その後、裁判所の方から、実際に裁判が行われる部屋で裁判所の施設や、裁判官・検察官などの係の仕事内容や服装などについて説明を受けました。中には裁判官が着用する



員の実際の訓練は緊迫感があり、「必要な事だから学ぶ。自分の仕事のためじゃない、相手の事を思って学ぶ。その姿勢こそがプロのあるべき姿なのだと思います」との感想も得られました。

最後に、生徒たちを温かく迎えていただき、親切に丁寧に説明や案内をしていただいた日本銀行及び東京地方裁判所の方々に感謝いたします。



附属小学校

「明和班活動のスタート」です。



四月十九日(土)、新生を全校児童で初めて迎える集会、一年生

さまざまな学習効果は、集会の準備の段階から児童たちの意識の中に生き

て迎える集会が行われました。その集いに引き続き、「明和班顔合わせ集会」が開かれました。

開校以来、縦割り班活動は附属小学校の学習活動でとても重要な役割を担っています。その伝統が生み出す

ています。お世話をする六年生にとっては、初めて自分がリーダーとなって活動する時です。「どんな一年生かな」「話を聞いてもらえるかな」と、不安や期待する気持ちに溢れていました。そのため、学年活動を通して、準備を進めてきました。

同窓会会員 第一回卒業生 附属小学校教諭 渡辺 五大

小学校同窓会は「秋和会」として会長を小学校第一回の卒業生である嶋崎亨大さんに今年度も委嘱し、就任していただくことになりました。

同窓会の活動として十九年度も歯科医師として活躍されている嶋崎会長を中心に、卒業生に来校していただきました。嬉しいことに、それに続く同窓生たちも数多く社会で活躍しており、小学校では、進路指導の一環として児童たちに卒業生による授業を企画・実施してきました。

卒業生による授業を始めて三年目の昨年度は、現在、美容室経営者として活躍されている、第一回卒業生の山崎洋平さんが後輩たちに授業を行ってくださいました。

第一回卒業生の山崎さんは、児童たちへ六月の望月校外学習を前に、洗髪の仕方を一年生にわかりやすく教えてくださいました。そして、最後に「夢を持ち続けることが大切だよ。その夢を叶えるために、頑張り続けてください」と、お話しくださいました。

こいのぼり集会



五月二日(金)、こいのぼり集会が開かれました。当日朝から曇り空で、ちようど鯉のぼりを前庭にかけようとしたその時、「ポツ、ポツ」と小さい水滴が降ってきました。残念ながら、鯉は屋内で吹き抜けになっている「ふれあい広場」の三階から

かけることになりました。それでもかけてみるとその大きさに目を見張りが一年生の、できたてのやほやの真新しい鯉。六匹の鯉たちが見守る中、集会が始まりました。当日は副学園長も来校し、最初に挨拶をいただき

ました。次に体育委員会による「端午の節句」クイズ、各学年の代表者一名ずつによる「今年のめあて」の発表などの後、「いらかの波」と「雲の波」で始まる全校唱歌「こいのぼり」を声高らかに歌いました。校長先生からは、「端午の節句は本来男の子のものだけれど、今は子どもたちみんなの元気な成長をお祈りする行事です。みなさんも、こいのぼりのように元気に頑張ろう」というお話があり、会が終了しました。

一人ひとりがこの一年何を頑張りたいかを書いた「うろこ」が、昨年の自分のうろこの上に貼られています。そのめあてに向かって「百瀬の滝を登る」ような一年にしていきたいものです。

児童たちは、自分たちの先輩から洗髪の仕方やいろいろな職業があることを教えてもらい、志を強く持ち、頑張り続けることの大切さを知ると同時に大きな夢をもらい、瞳を輝かせていました。

今年、学園創立七十五周年記念運動会は五月二十五日(日)、聖徳祭は十月十九日(日)です。また、今年度は小学校同窓会「秋和会」として初となる総会を開き、各年度の同窓会活動を促進していきたいと考えておりますので、宜しくお願いたします。

今年度の父親参観は聖徳学園創立七十五周年を記念して、川並妙子園長先生に学園の生い立ちと子育ての大切さを話していただきました。

秋和会 附属小学校同窓会

「二十一世紀を担う、輝く聖徳の子！」

同窓会会員 第一回卒業生 附属小学校教諭 渡辺 五大

時々に大きな夢をもらい、瞳を輝かせていました。今後もうこうした卒業生による授業を実施し、同窓会の活動を推進してまいります。また、我こそはと思われれる卒業生の方は、学校までご一報いただくと幸いです。ご協力宜しくお願いたします。

附属小学校も二十三歳を迎えた今年、校風と伝統を大切に引き継ぎながら素晴らしい学校に発展してきていることを、卒業生としてこの上なく誇りに感じております。今でも卒業生の心に残る集会や行事が数多く行われております。二十二年前からずっと変わらぬ聖徳の子の財産として引き継がれている行事を機会がありましたら、ぜひ、皆様をお誘い合わせのうえ、母校をご訪問下さい。皆様をよくご存知の先生方が多く、お仕事を続けていらつしやるのも私立ならではのところで、お待ちしております。

今年、学園創立七十五周年記念運動会は五月二十五日(日)、聖徳祭は十月十九日(日)です。また、今年度は小学校同窓会「秋和会」として初となる総会を開き、各年度の同窓会活動を促進していきたいと考えておりますので、宜しくお願いたします。

今年度の父親参観は聖徳学園創立七十五周年を記念して、川並妙子園長先生に学園の生い立ちと子育ての大切さを話していただきました。

幼稚園短信

楽しみな 保育参観・試食会 八王子中央幼稚園

毎年五月または、六月に年に一度保護者の方々に、園児たちが食べている給食と一緒に味わっていただく試食会をかねた保育参観・試食会が行われます。この日は、午前中は各クラス毎にゲームや集団遊び、リズム遊び等を参観していただき、その後親子で体を動かして楽しく過ごせるような計画を実施しています。新年度を迎え、新しいクラスにようやく慣れてきた頃この参観は、園児同士、そして保護者同士がより親し

くなれる良い機会でもあります。そして、楽しみにしている給食の時間になると、親子で向かい合って座り、「いただきます」のご挨拶をしておいしく、そして楽しく和やかにいただいている姿が毎年見られています。園児たちは、保護者の方が見ているという事で、苦手の野菜を頑張つてもりもりと食べて見せたり、おかわりをしたりと、いつも以上に気合いが入っていたり、子どものいただいてる姿を見て「家では野菜食べないのに!!」と、驚いている保護者の方々の姿が見られます。最後の

に、保護者の方に給食のアンケートに答えていただき、今後の参考にさせていただきます。一年に一度の保育参観・試食会は、保護者の皆さまにも毎年楽しみにしている行事の一つのようです。

体を使つての遊び 「父親参観」 三田幼稚園



切さの講演をしていただきました。入園式や卒園式、運動会、遊戯会、そして普段の送迎等にもお父様の参加が多く見られますがお仕事の都合で園児たちと関わりたくも時間が取れないという方もいらっしゃいます。どうしたらいいのかわからないのか?という悩みをお持ちの方もいらっしゃるようです。聖徳学園では、建学の精神「和」から具体的に幼稚園の教育方針を積み重ね、いつの時代も「基本的生活習慣と躰」が大切であることを話し、参加されたお父様方も真剣に話

を聞いています。その後は、各クラスで園児たちと体を使った遊び中心に保育が展開されます。保護者も園児たちも笑顔が絶え間なく「おっ! 頑張つたな!」「上手でできたぞ!」「頑張れ!」とたくさん声が聞かれ、園児たちも嬉しそうに保護者に見守られながら安心して遊びに参加している姿が見られ、参観までにプレゼントを作り、大好きなお父さんへプレゼントしたり「すてきなパパ」の歌をうたい、父と子との大切な時間を過ごします。昨今、親子の関係が崩れた事件も報道されていますが、日頃の親子の関わり方で根強い親子の関係を築く事ができればと思います。七十五年の歴史も親子を強く結びつける役割を果たし、誇りに思います。

見まわり隊

多摩中央幼稚園

新年度を迎え、多摩中央幼稚園の園児たちは元気よく笑顔で登園しています。年長の松組の園児たちは生活の中で年長になった自覚と喜びを感じているようです。

園児たちが松組になって楽しみにしている活動の中に「見まわり隊」があります。見まわり隊の活動は、各保育室のゴミが分別されているか、水道の蛇口は閉まっているか、トイレのサンダルは揃っているか、床にゴミが落ちていないかを各クラス、グループごとに見まわる活動をします。その活動を自然環境に対する意識づけの第一歩として、一年間くり返すことにより、意識をより高めることをねらいとしています。まだ始ま



現在は見まわったり、チェックをするだけですが、今後はゴミの分別などを通し、その後ゴミがどの様に変化し、リサイクルされて自分たちの生活に役立っていくか知り

つたばかりですが、「先生、今日ゴミ落ちてなかったよ」「トイレのサンダルきれいに揃えたよ」と意欲をもって取り組んでいます。時にはチェック箇所を見忘れ「もう一回行ってくるね」と保育室を飛び出し、なかなか戻ってこないこともあり、園児たちが真剣に取り組んでいる姿を見守るようにしています。

ならし給食

附属浦安幼稚園

浦安幼稚園は、今年度で開園五年目を迎えました。開園当初から園児たちが健康やかに成長していくためには、適切な運動、調和の取れた食事が必要との思いから給食を実施しております。給食の実施は栄養面も合わせ、食事時の雰囲気作りを大切にすること、また偏食



の是正、食事前後のマナー、箸の正しい使い方等を身につけるとい教育目標でもあります。三才児には、食事に興味を持たせ、給食に慣れさせること、四才児は、夏休みまでには給食になれることと、箸の使い方ができること、五才児は、夏休みまでは三十分以内に食事が食べられるようにし、秋からは、小学校給食と同じくらいの時間で食べ終わるようにという願いを持って取り組んでいます。

本園では、目標の達成をすぐに園児たちに求めるのではなく、毎年給食スタート前に「ならし給食」を実施し、少しでも抵抗をなくし、給食に期待感を持てるよう、努力しています。

見たいは登園すると「早く食べたい、今日はゼリーだよ」と初めての給食に期待感を持っている様子でした。小さい手を合わせて「いただきます」と食前のあいさつをする、さつそく食べ始め、「おいしい」「お家と同じだ」と隣の友達と顔を見合わせ満足そうな顔でした。入園して一週間経っていない三才児クラスでは、食事の最中に椅子に座らず、フラフラしている子、舌でゼリーを舐め、「いやな」という子、様々な姿が見られました。今後、教師は個別の対応を考えながら、段階的に楽しく、衛生面、年齢、発育状態、園児たちの食事の様子を多面的にとらえ、バランスのよい献立を園児たちに味わわせるために、幼稚園の管理栄養士と一緒に、園児たちの成長を援助していきたく思います。

はじめての保育参観

附属第二幼稚園

去る四月十九日(土)・二十一日(月)・二十二日(火)の三日間に渡って、学年毎に保育参観が実施されました。特に松組・パンダ組の保護者にとっては初めて子どもたちの幼稚園生活を見る機会であり、また土曜日とあってご両親揃っての参観が多く、保育室は満員で期待の大きさがうかがえました。

園児たちは覚えてきたの聖徳幼稚園歌を披露したり、出席調べでは元気に返事をしたり、また友達と一緒に静かに絵本を見ている姿等を見ていた皆さまは、中には両親の側から離れない園児もおりましたが、親子フオークダンスではみんな楽しく踊ることができました。参観後の学級懇談会では自己紹介をしていただき、保護者同士の交流を深めました。

の着脱・排泄・箸の持ち方等基本的な生活習慣の自立に向けて、保護者に指導をする機会を設けてみました。その甲斐あって、入園当初から自分でやってみようとする園児の意欲的な姿が多くみられ、保護者が意識を高めて指導に取り組みでいただけたことがわかり嬉しく思います。一日も早く聖徳の子どもとして、いつもにこにこ元気に楽しい幼稚園生活を過ごせるよう魅力ある保育に務めたいと思います。

新しいお友達にちは！みんなそろって対面式

附属幼稚園

附属幼稚園では四月五日(土)に今年度の入園式、進級式が行われ、その後の二日間には新入園児だけが登園し幼稚園に慣れるよう、園内散歩をしたり、幼稚園で



の過ごし方を体験します。四月九日(水)いよいよ、新入園児と進級園児が顔を合わせる対面式です。この日は朝から全園児が揃うため一変に賑やかさが増し、園内は活気にあふれています。

対面式はホールに全園児が一堂に集まり年長児のはじめの言葉が始まりました。新入園児は三歳児がほとんどで人数の多さに驚いたのか、泣き出したり、担任から離れられなかったり、不安な様子でやと椅子に座っている園児等様々でした。

一方、進級園児は「幼稚園に桜組・梅組の新しいお友達があえましたよ。松組・梅組のお兄さんお姉さんは、

平成二十年度入園式

附属第三幼稚園

入園式は、満開の桜の下、胸はずませ集団生活を始める記念すべき第一歩です。お父様お母様と離れ、ホールに向かう新入園児、「ギョツ」と口を結んで泣くのを我慢、先生が差し延べてくれた暖かい手を強く握り、椅子に座る園児たちです。

今年度も、一人ひとりの園児にとつていろいろな友達と関わり、楽しい幼稚園生活を送れるよう、日々配慮したいと思ひます。

いろいろな事を教えてあげてくださいね」という副園長先生のお話には、「はい！と得意気に返事をしていた。新入園児も先生と一緒に「アンパンマン」の手遊びをしたり、みんな「チューリップのうた」や「むすんでひらいて」を歌っている内に少しずつ気持ちもほぐれ、笑顔も見られるようになりました。

そして、「明日から、みんなで仲良く楽しく遊びましょう」の年長児の挨拶で会話は終了いたしました。今年度も、一人ひとりの園児にとつていろいろな友達と関わり、楽しい幼稚園生活を送れるよう、日々配慮したいと思ひます。



先生方の真似をして、拍手してこにこ笑顔で一緒に歌を歌う姿が見られました。

胸はずませ集団生活を始める記念すべき第一歩です。お父様お母様と離れ、ホールに向かう新入園児、「ギョツ」と口を結んで泣くのを我慢、先生が差し延べてくれた暖かい手を強く握り、椅子に座る園児たちです。

はじめての保育参観

附属第二幼稚園

去る四月十九日(土)・二十一日(月)・二十二日(火)の三日間に渡って、学年毎に保育参観が実施されました。特に松組・パンダ組の保護者にとっては初めて子どもたちの幼稚園生活を見る機会であり、また土曜日とあってご両親揃っての参観が多く、保育室は満員で期待の大きさがうかがえました。



子どもの将来を応援します。

第41回SEITOKU夏期保育大学7月26日開催

「保育の聖徳®」の夏の伝統行事である「SEITOKU夏期保育大学」も、非常に多くの方々のお力添えにより、今年で歴史を重ねること41回目を迎えることとなりました。今年、「子どもの発達を考えよう」を総合テーマに、全体会と10分科会でご用意しております。

全体会の講演には、国立精神・神経センター精神保健研究所所長・加我牧子先生をお迎えし、ご専門とされる発達障害の分野をもとに、子どもの明るい未来を見すえたお話をうかがいます。

また、午後の分科会では、総合テーマに基づいた事例や、日常の保育活動ですぐ活用できる内容など、全部で10分科会をご用意しております。講師と受講者、受講者同士の交流を深めながら、ともに学び、楽しく実り多いひとときをご一緒にお過ごしいただけたら幸いです。

保育現場の先生方や、育児中の方々にも十分ご満足いただける内容となっておりますので、ぜひお誘い合わせの上、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

第41回 SEITOKU夏期保育大学

- 日 時：平成20年7月26日(土) 10時～16時
- 会 場：聖徳大学キャンパス(松戸駅東口徒歩5分)
- 総合テーマ：“子どもの発達を考えよう”
- 全体会：講演/「こどもの発達とその障害」
講師/国立精神・神経センター精神保健研究所所長 加我 牧子 先生
- 分科会：①新幼稚園教育要領と今後の教育の在り方
②子どもと楽しむ手あそび歌あそび
③子どもの気持ちを聴ける先生とは
④よりよいコミュニケーションをめざして
⑤親子と共に育ちあう保育者をめざして
⑥つくってあそぼう!! (人形劇)
⑦新保育所保育指針が目指す保育とは
⑧光と影の軌跡をたどる(コピアートペーパー作品)
⑨改訂保育所保育指針と「健康」
⑩用具を使つての運動遊びと表現
- 受講料：一般：5,000円 卒業生：4,000円 在学生：2,500円



【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)

学校法人東京聖徳学園創立75周年記念/源氏物語千年紀記念

聖徳大学言語文化研究所公開学術連続講演会 源氏物語と王朝の雅

御挨拶

今年は学校法人東京聖徳学園創立75周年に当たります。また、源氏物語が書かれて千年になりますので、それらを記念して本研究所は「源氏物語と王朝の雅」をテーマに、以下のような内容で、全13回の連続講演会を開催いたしております。これを機会に「和」の文化の代表であり、女性の生み出した源氏物語への認識を新たに、「和」を建学の精神として創立以来一貫して女子教育を目標とする本学園への関心を高めてくだされば幸いです。

主 催：聖徳大学言語文化研究所

後 援：源氏物語千年紀委員会



場 所：聖徳大学10号館(松戸市松戸1169) 松戸駅東口徒歩1分

申込み：不要・先着80名

第6回	6月 5日(木)	16:30~18:00	源氏物語の時代に生きた女性たち	埼玉学園大学教授	服藤早苗
第7回	6月12日(木)	15:00~16:30	源氏物語男性論	聖徳大学言語文化研究所教授	北村弘明
第8回	6月26日(木)	16:30~18:00	源氏物語と絵巻	中京大学教授	原 国人
第9回	7月12日(土)	15:00~16:30	平安かな文化	東京国立博物館文化財部長	鳥谷弘幸
第10回	7月17日(木)	16:30~18:00	平安時代の言葉	聖徳大学人文学部長	林 史典
第11回	9月18日(木)	16:30~18:00	平安時代の仏教	駒沢女子大学専任講師	皆川義孝
第12回	9月25日(木)	15:00~16:30	源氏物語と与謝野晶子	元聖徳大学教授	逸見久美
第13回	10月 2日(木)	15:00~16:30	源氏物語と香	聖徳大学SOA講師	小泉春明

※日程等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【お問い合わせ】 聖徳大学言語文化研究所、聖徳大学知財戦略課
Tel.047-365-1111(大代)

聖徳大学出版会 東京国際ブックフェアに出展します。

聖徳大学出版会は「大学出版部協会」に加盟しております。今年も「大学出版部協会」は、7月に東京ビッグサイトで開催される東京国際ブックフェアに出展を行い、聖徳大学出版会も書籍を出展予定です。

この東京国際ブックフェアは日本最大の書籍の展示会であり、書籍の特別価格での提供、各種セミナーや、トークショーなどイベントも満載です。

年に一度の機会ですので、ご興味のある方は、どうぞご来場ください。

会期：7月10日(木)~13日(日) 10:00~18:00

会場：東京ビッグサイト(東京都有明)

アクセス 東京駅→(山手線・京浜東北線)→新橋駅→(ゆりかもめ)→国際展示場正門駅
東京駅→(京葉線・武蔵野線)→新木場駅→(りんかい線)→国際展示場駅
新宿駅→(りんかい線直通埼京線)→国際展示場駅 など

かすが荘で、さわやかな夏休みを!



〈女神湖〉

標高約900メートル、北に浅間山、南に蓼科山を望む雄大な自然の中に春日温泉はあります。

周辺はゴルフ場や乗馬(馬事公苑)、テニスコート、ゲートボール場等各種スポーツ施設も豊富です。さらに今人気の森林セラピー基地「春日の森」もあり、高原でのさわやかな汗を流すことができます。その後の美肌の湯として評判の春日の湯も格別でしょう。

特に、このセラピーロードは「ジリの木の小径」「カラマツ谷の小径」「駒の小径」の3ルートがあり、森とふれあいながらの林道散歩は本当に癒されます。

また、お車で1時間程度足を伸ばすと「軽井沢」「白樺湖・女神湖」「小諸懐古園」「ピナスライン・車山・霧ヶ峰・美ヶ原高原」等、おなじみの人気スポットが目白押しです。

どうぞ夏プランの一つとして、信州春日温泉への旅を加えてみてはいかがでしょうか。

どうぞ温泉浴と森林浴の癒しの里へ

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

ゲートボール大会スタート

4月29日(火)、かすが荘で平成20年度のゲートボール大会「かすが杯」がスタートしました。第1回大会は、地元のゲートボール愛好家の方を中心として、多くの方にご参加いただき、2日間に渡って熱戦が繰り広げられました。一見、ゲートをくぐらせるだけの単純なスポーツに見られがちなゲートボールですが、実際には高度なチーム戦術が求められるゲームです。今後も秋まで毎月大会が開催されますので、一度ゲートボールに触れてみてはいかがでしょうか。きっとあなたのゲートボールのイメージが変わります。また、大会期間以外でもゲートボール場はご利用いただけます。貸出用具も準備しておりますので、ご興味がある方はどうぞかすが荘へお越しくださいませ。

平成20年度「かすが杯」日程

- 6月25日(水)~26日(木)
- 7月23日(水)~24日(木)
- 8月29日(金)~30日(土)
- 9月23日(火)~24日(水)
- 10月7日(火)~8日(水)



同窓会からのお知らせ

●聖徳学園 聖徳菊水会(同窓会連合会) ▶平成20年6月21日(土) 第五回評議員会
※フラッシュ35号では、平成20年6月7日(土)とお知らせしましたが、6月21日(土)に訂正・変更いたします。

●大学院・大学・短大 香和会 総会 ▶平成20年7月12日(土)

・学内見学ツアー(事前申込み) 13:30 集合 ~14:30

・総会/懇親会 15:00 ~18:00

受付開始(8号館3階アミティエ) 14:30~

〈懇親会費〉大学院・大学・短大の卒業生：2,000円
同伴のお子様(中学生 500円、小学生以下無料)

どうぞ
お気軽にご参加ください。

【お申込み・お問い合わせ】
香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

※なお、香和会の各支部パーティーの詳細は6月1日発行の本誌に掲載予定でしたが、8月1日発行の次号に掲載いたします。

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

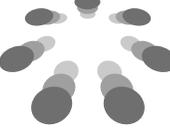
発行人/川並 弘昭 編集/企画渉外課



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

08.6.1 re (29)

景色のたすき 100条へ



Dare to Dream SEITOKU 75th

読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。今後、ますます充実させていきたいと思っておりますので、是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

〈アンケートURL〉 <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html>
〈ご意見・ご感想の宛先〉

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは <http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/> の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)